

新築棟諸室等の使い方及び 配置の考え方について

【参考】検討会の当面のスケジュール

令和8年3月 (実績)	4月	5月	6月	7月～
平面計画策定 の方向性	諸室等の使い 方及び配置の 考え方	平面計画（案）		諸室等の設え 等の検討

平面計画作成に向けた方向性について

■ 平面計画作成に向けた方向性

新築棟の整備内容のイメージをより具体的にするため、いただいた意見等を基に次のとおりとします。

■ 公民館と児童館の一体感がある施設とします。

児童館機能における児童の安全性に配慮しつつ、ロビー・フリースペースの拡充等により、世代間交流がはかれるような整備を行います。

■ ロビーやフリースペースを開放的な空間として整備を行います。

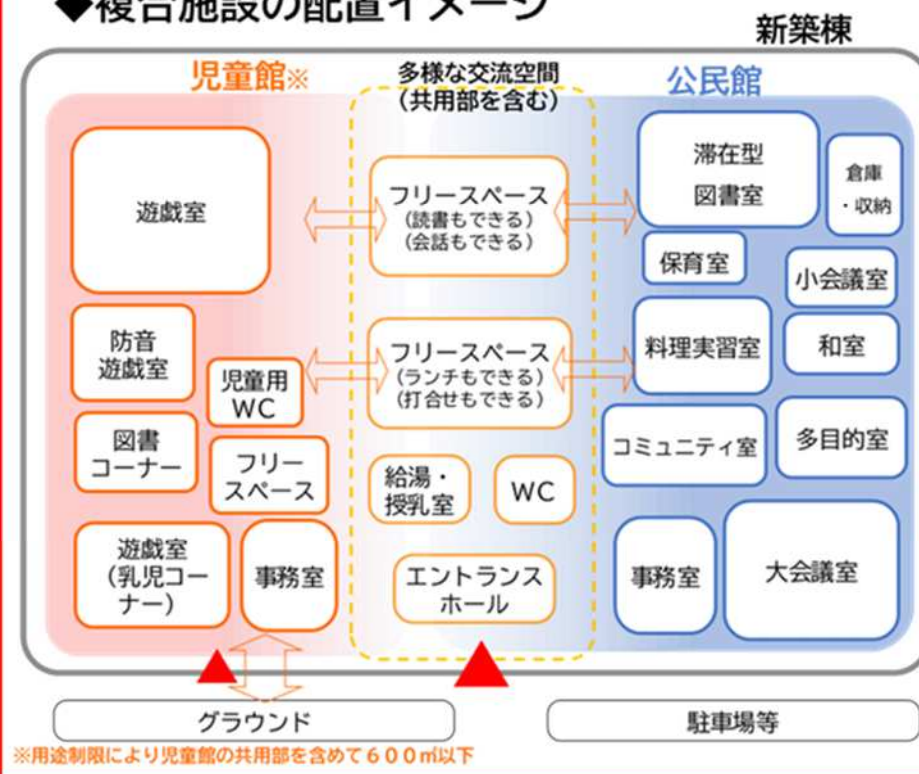
賑わいがある公共施設の整備事例を参考に、施設の中心的位置づけとなる新築棟ロビー・フリースペースを開放的な空間とし、子ども・若者から高齢者までが居心地よい空間となるような整備を行います。ロビーやフリースペースには机やいすを配置し、予約なしでの打ち合わせや学習、子ども食堂等での利用に配慮した設えとします。

■ 公民館貸室の見える化をします。

公民館利用サークル等の活用の様子を見学できるようにするため、貸室については、共用部に面する部分に窓を設けることで、室内の活動の様子の見える設えとします。

【参考】基本計画（P. 8再掲）

◆複合施設の配置イメージ



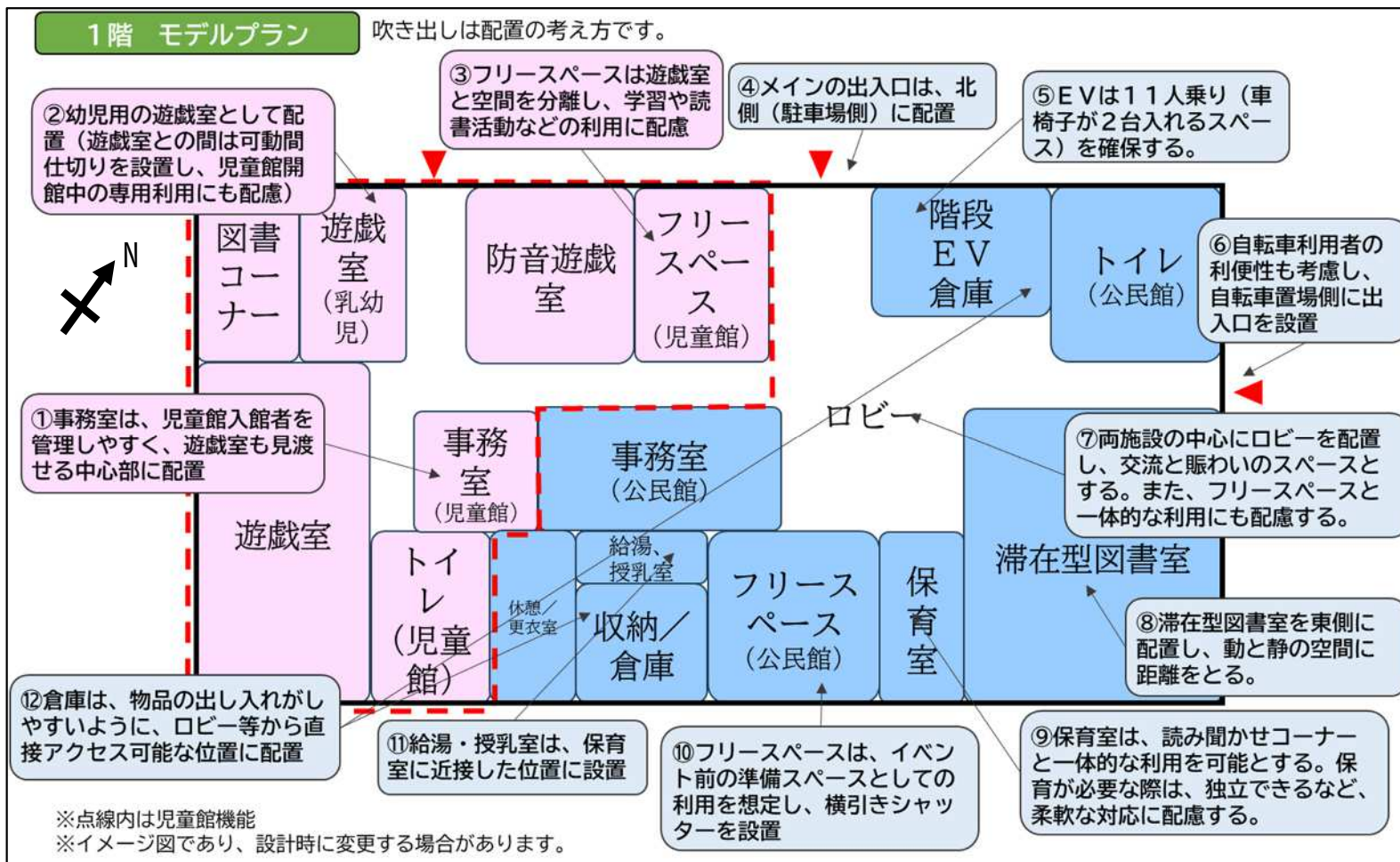
※平面計画は令和8年6月頃までに概ね確定します。

1 階モデルプランの考え方について

整備方針 (基本計画から引用)

児童館機能の各諸室や公民館機能の滞在型図書室、フリースペースなどを配置し、多世代の方が集まって賑わいが生まれるような空間

(仮称) 光が丘地区複合施設市民検討会
第6回(令和7年3月21日開催) 資料2再掲



●公民館機能

諸室名	想定規模
滞在型図書室	125㎡
フリースペース	49㎡
事務室・休憩室	70㎡
トイレ	50㎡
給湯・授乳室	36㎡
収納・倉庫	36㎡
保育室	25㎡
ロビー等	110㎡

●児童館機能

諸室名	想定規模
遊戯室	98㎡
遊戯室（乳幼児）	30㎡
図書コーナー	28㎡
防音遊戯室	49㎡
事務室	25㎡
フリースペース	38㎡
トイレ	35㎡
共用部	72㎡

1 階平面計画の作成について①

■モデルプランを踏まえた整備の方向性

- ・各機能の目的を尊重しつつ、時代のニーズに合った空間
- ・子ども・若者と地域の人々が交流し、緩やかにつながることができる共有の空間
- ・乳幼児から高齢者までが気軽に立ち寄り、交流しやすい空間
- ・隣接する保育園・療育センター利用者との連携しやすい空間

【参考とした主な意見】 ※詳細は資料1（別紙1）参照

回次	議題	番号
2	(2)	6 など
	(3)	1～6、18、25、37、38、41、42、44～47、102、105～107、121、122 など
3	(1)	3、4 など

■考え方 ※具体的な整備の考え方（案）に基づくレイアウトイメージは資料1（別紙2）参照

モデルプランにおける配置の考え方			平面計画作成に係る具体的な整備の考え方（案）	
児童館	児童館事務室	①児童館事務室は、児童館入館者を管理しやすく、遊戯室も見渡せる中心部に配置	児童館	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館及び公民館事務室を建物中心付近に配置し、共用部等との間にカウンターを設置することにより、開放感を創出し、安全性を確保する。
	遊戯室（乳幼児）	②遊戯室（乳幼児）は、幼児用の遊戯室として配置（遊戯室との間は可動間仕切りを設置し、児童館開館中の専用利用にも配慮）		（左記のとおり）
	フリースペース（児童館）	③フリースペースは遊戯室と空間を分離し、学習や読書活動などの利用に配慮	共用部	<ul style="list-style-type: none"> ・フリースペースを共用部とし、ロビーと一体的に整備することにより、開放感を創出する。 ・ロビー・フリースペースの一部を靴を脱いで利用するエリアとし、子どもが静かに安心して利用できる空間とする（学習、読書、おもちゃ遊び、ゲーム等）。 ・公民館保育等での利用も考慮し、可動式間仕切り等で仕切れる構造とする。
公民館	出入口	④メインの出入口は、北側（駐車場側）に配置		（左記のとおり）
	エレベーター	⑤EVは11人乗り（車椅子が2台入れるスペース）を確保する。		（継続検討）

1 階平面計画の作成について②

モデルプランにおける配置の考え方			平面計画作成に係る具体的な整備の考え方（案）	
公民館	出入口（駐輪場側）	⑥自転車利用者の利便性も考慮し、自転車置場側に出入口を設置	共用部	<ul style="list-style-type: none"> 自転車置場を<u>建物北側（駐車場側）に整備</u>することとし、出入口を集約する。
	ロビー	⑦両施設の中心にロビーを配置し、交流と賑わいのスペースとする。また、フリースペースと一体的な利用にも配慮する。		<ul style="list-style-type: none"> 施設に一体感を持たせ、賑わい溢れるオープンな空間として整備する。 開放感を創出するため、<u>フロア全体を見通せる設え</u>とする。 長時間の滞在利用を想定して<u>誰でも利用可能なミニキッチンを整備</u>し、給湯や電子レンジ等を配置する。
	滞在型図書室	⑧滞在型図書室を東側に配置し、動と静の空間に距離をとる。	公民館	（左記のとおり）
	保育室	⑨保育室は、読み聞かせコーナーと一体的な利用を可能とする。保育が必要な際は、独立できるなど、柔軟な対応に配慮する。	共用部	<ul style="list-style-type: none"> <u>ロビー・フリースペース（靴を脱いで利用するエリア）等で保育室機能を代替し、可動式間仕切り等で仕切れる構造</u>とする。
	フリースペース	⑩フリースペースは、イベント前の準備スペースとしての利用を想定し、横引きシャッターを設置		（左記及び「ロビー」記載のとおり）
	給湯室／授乳室	⑪給湯・授乳室は、保育室に近接した位置に設置		<ul style="list-style-type: none"> 授乳室は<u>ロビー・フリースペース（靴を脱いで利用するエリア）に隣接した位置に設置</u>する。 給湯はロビー内のミニキッチンを使用する。
	倉庫	⑫倉庫は、物品の出し入れがしやすいように、ロビー等から直接アクセス可能な位置に配置		<ul style="list-style-type: none"> 事務室に隣接し、物品を出しやすいようにする。

1 階平面計画の作成について③

■各諸室等の主な利用用途等

※現在の公民館諸室の利用統計は資料1（別紙3）参照

●共用部

諸室名	基本計画に記載の主な用途等	主な利用用途等（案）
ロビー・フリースペース （土足エリア）	予約なしでの簡単な打合せ等に利用できる場	・ 簡単な打ち合わせやグループ学習、持込による飲食等
ロビー・フリースペース （靴を脱いで利用するエリア）※	予約なしで勉強や読書等に使うことができる場	・ 学習、読書、おもちゃ遊び、ゲーム 等（乳幼児から小学生までを主なターゲット） ・ （公民館保育室として）事業実施時等における保育、読み聞かせ

※設置エリアを児童館機能から変更

●公民館

諸室名	基本計画に記載の主な用途等	主な利用用途等（案）
滞在型図書室	学習や読書ができるスペース、読み聞かせコーナー等を備え、居心地よく感じられる場を確保	・ 図書の貸出・返却、読書や個人の学習 等

●児童館

諸室名	基本計画に記載の主な用途等	主な利用用途等（案）
遊戯室	児童等の遊戯スペース	・ ボルダリング、卓球、クッションブロック、おもちゃ遊び 等（小学生を主なターゲット）
遊戯室（乳幼児）	乳幼児遊戯室として配置	・ おもちゃ遊び 等（乳幼児）
図書コーナー	遊戯室に近接して配置し、館内で閲覧する幼児書等を配架	・ 読書、学習 等
防音遊戯室	日中は思いっきり大声を出すことができる遊戯室として利用。音楽活動の場として専用貸出し	・ 楽器演奏、カラオケ、ダンス練習 等（中高生を主なターゲット）

2階モデルプランの考え方について

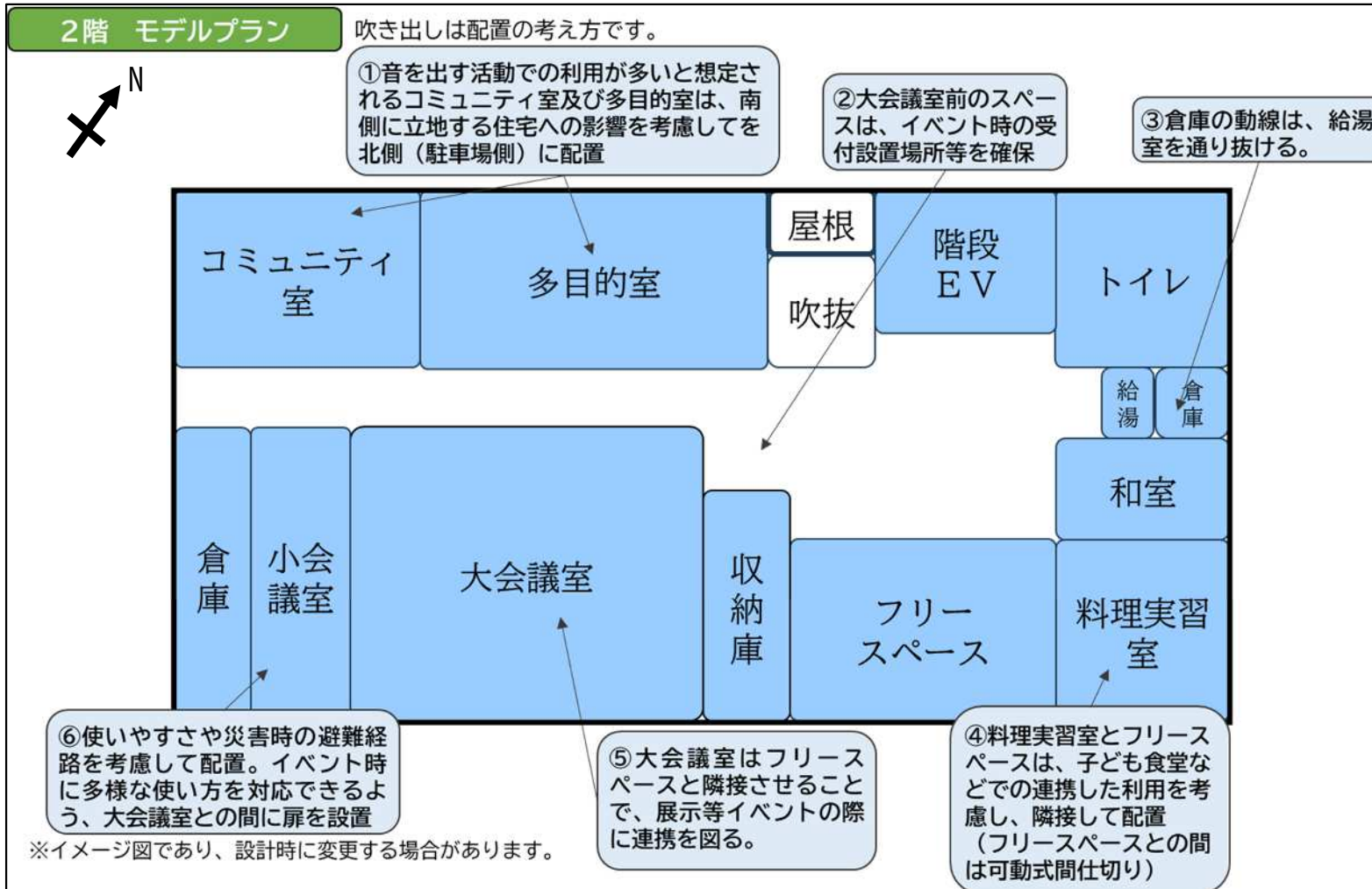
整備方針
(基本計画から引用)

公民館機能の団体で利用する各諸室やフリースペース
で構成

(仮称) 光が丘地区複合施設市民検討会
第6回(令和7年3月21日開催) 資料2再掲

●公民館機能

諸室名	想定規模
大会議室	185㎡
小会議室	46㎡
和室	28㎡
多目的室	98㎡
コミュニティ室	66㎡
料理実習室	49㎡
フリースペース	73㎡
トイレ	50㎡
収納・倉庫	43㎡
給湯室	6㎡
共用部	206㎡



2階平面計画の作成について①

■モデルプランを踏まえた整備の方向性

- 各機能の目的を尊重しつつ、時代のニーズに合った空間

【参考とした主な意見】 ※詳細は資料1（別紙1）参照

回次	議題	番号
2	(2)	4～6 など
	(3)	7～9、11～13、37、38、102、121、122 など
3	(1)	3 など

■考え方 ※具体的な整備の考え方（案）に基づくレイアウトイメージは資料1（別紙2）参照

モデルプランにおける配置の考え方			平面計画作成に係る具体的な整備の考え方（案）	
公民館	コミュニティ室	①音を出す活動での利用が多いと想定されるコミュニティ室及び多目的室は、南側に立地する住宅への影響を考慮してを北側（駐車場側）に配置	公民館	<ul style="list-style-type: none"> <u>ロビー・フリースペースとの一体的な利用を考慮して配置し、可動式間仕切りで仕切る構造</u>として整備する。 会議等での利用を想定して整備を行う。
	多目的室			（左記のとおり）
	ロビー	②大会議室前のスペースは、イベント時の受付設置場所等を確保	共用部	<ul style="list-style-type: none"> <u>フリースペースと一体で整備</u>するとともに、イベント時等における<u>コミュニティ室や料理実習室との一体的な利用</u>も可能な空間として整備する。
	収納／倉庫	③倉庫の動線は、給湯室を通り抜ける。	公民館	（左記のとおり）
	料理実習室	④料理実習室とフリースペースは、子ども食堂などでの連携した利用を考慮し、隣接して配置（フリースペースとの間は可動式間仕切り）		（左記のとおり）
	大会議室	⑤大会議室はフリースペースと隣接させることで、展示等イベントの際に連携を図る。		（左記のとおり）
	小会議室	⑥使いやすさや災害時の避難経路を考慮して配置。イベント時に多様な使い方を対応できるよう、大会議室との間に扉を設置		（左記のとおり）

2階平面計画の作成について②

■各諸室等の主な利用用途等

※現在の公民館諸室の利用統計は資料1（別紙3）参照

●共用部

諸室名	基本計画に記載の主な用途等	主な利用用途等（案）
ロビー・フリースペース	予約なしでの簡単な打合せや、料理実習室に隣接した箇所は子ども食堂でのランチスペースなどに利用できる場	<ul style="list-style-type: none"> ・ 簡単な打ち合わせやグループ学習、個人学習 等 ・ （料理実習室と一体利用）子ども食堂における食事スペース 等 ・ （コミュニティ室と一体利用）オープンステージや展示スペース 等

●公民館

諸室名	基本計画に記載の主な用途等	主な利用用途等（案）
大会議室	各種会議などに利用。放送室の撤去や可動式ステージの配置等により、有効面積の拡大を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種会議、講座、式典、ステージ発表、ダンス、卓球 等
小会議室	少人数の打ち合わせや学習活動に利用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種会議、創作活動、（大会議室のステージ発表時）控室 等
和室（靴を脱いで利用）	畳が必要な活動に利用（靴を脱いで利用する）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 茶道など畳が必要な活動 等
料理実習室	調理活動や、子ども食堂の事業などの場として利用。調理台は現状どおり壁付けとすることや、フリースペースと可動式間仕切りで仕切ることにより、多目的な利用に配慮します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調理、各種会議 等 ・ （ロビー・フリースペースと一体利用）子ども食堂における調理スペース 等
コミュニティ室	会議や音楽活動などに利用。現状と同程度の面積を確保し、防音性能を向上します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域団体等の各種会議 ・ （ロビー・フリースペースと一体利用）オープンステージや展示スペース 等
多目的室（靴を脱いで利用）	会議やダンス、体操などに利用（靴を脱いで利用）。防音性能を向上し、鏡を設置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽、体操、ヨガ、子育て事業、各種会議 等

外構計画の作成について（新築エリア及びグラウンドに係る部分）

■考え方（案）

- ・ 車両動線と歩行者動線の交錯が最小限となるように留意する。
- ・ 駐車場は新築棟用27台程度整備する（公用車1台を含む）。なお、非常時等は改修エリア駐車場との共用利用も可能な配置とする。
- ・ ベビーカー、バギー等での来館を想定し、滞留空間を整備する。
- ・ 敷地東面接道部はフェンスや門扉を設けないオープンな空間とする。
- ・ 敷地南面接道部のグラウンドに面する部分は防球や防塵対策を講じる。

■各ゾーンの主な利用用途等

ゾーン名	主な利用用途等（案）
駐車場③	・ 新築棟利用者用（27台程度）
駐輪場及びベビーカー、バギー置き場	・ 新築棟利用者用
グラウンド	・ 球技、遊具遊び 等 ・ イベント時の模擬店設置場所 等

【参考】全体配置計画（基本計画概要版P. 5）

